



Press Release

2011年4月18日  
ダウ化工 広報室

## ダウ化工、「スタイロフォーム™」押出発泡ポリスチレン板の輸入開始へ

ダウ化工株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：矢野 秀樹）は、親会社であるザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（本社：米国ミシガン州）の欧州工場から、断熱材の需給ひっ迫に対応するため、「スタイロフォーム™」押出発泡ポリスチレン板の輸入に踏み切ると発表しました。

2010年から、長期優良住宅や住宅版エコポイントといった省エネ政策の普及により、断熱材需要が急増しました。すでに、生産が追いつかない状況であったところに、東日本大震災が発生し、東北地方に位置する断熱材メーカーの工場が生産停止となり、品薄状態がさらに悪化しました。加えて、仮設住宅向けの需要が上乗せとなり、品薄感が一気に広がりました。この極度な断熱材製品の品薄状況に対応するため、ダウ化工は、ダウがグローバルに展開する生産体制を生かし、「スタイロフォーム™」押出発泡ポリスチレン板の輸入開始を決定しました。

2011年6月上旬をめどに、ダウ・ケミカルのドイツ、ポルトガル、イギリス工場から、「スタイロフォーム™」押出発泡ポリスチレン板をコンテナで輸入します。当初の輸入量は、月間5000立方メートルを計画、その後、販売を開始する予定です。これらの輸入製品は、完全ノンフロン製品で、JIS A9511 A種押出法ポリスチレンフォーム保温材保温板1種bの規格値および国内グリーン購入法の「断熱材」判断基準にも適合します。ダウ化工の矢野秀樹社長は、「断熱材の需給が極度にひっ迫する中、ダウのグローバルな供給体制を生かして、国内のニーズ対応に最大限の努力をほらう所存です」と決意を述べています。

ダウ化工は米大手化学メーカー、ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（出資率65パーセント）と住友化学株式会社（同35パーセント）の合弁による日本法人です。押出発泡ポリスチレン断熱材の国内大手として、栃木県鹿沼市および岡山県笠岡市に所在する工場で押出発泡ポリスチレン製の断熱材を生産しています。親会社であるダウ・ケミカルの「スタイロフォーム™」製品は、世界の押出発泡ポリスチレン断熱材市場でおよそ40パーセントの占有率を占めています。

®™ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー商標

ダウ化工広報室 紀本（電話：03 5460 2201 メール：[kkimoto@dow.com](mailto:kkimoto@dow.com)）

ダウ・ケミカルは米国ミシガン州に本社を置く世界最大の石油化学品メーカーです。世界160カ国で事業活動を展開するダウの年間売り上げは537億ドル、従業員数は5万人です。世界35カ国188カ所の製造拠点で生産に従事しています。ダウ・ケミカルは1973年に東京証券所に上場した最初の外国企業です。[www.dow.com](http://www.dow.com)